

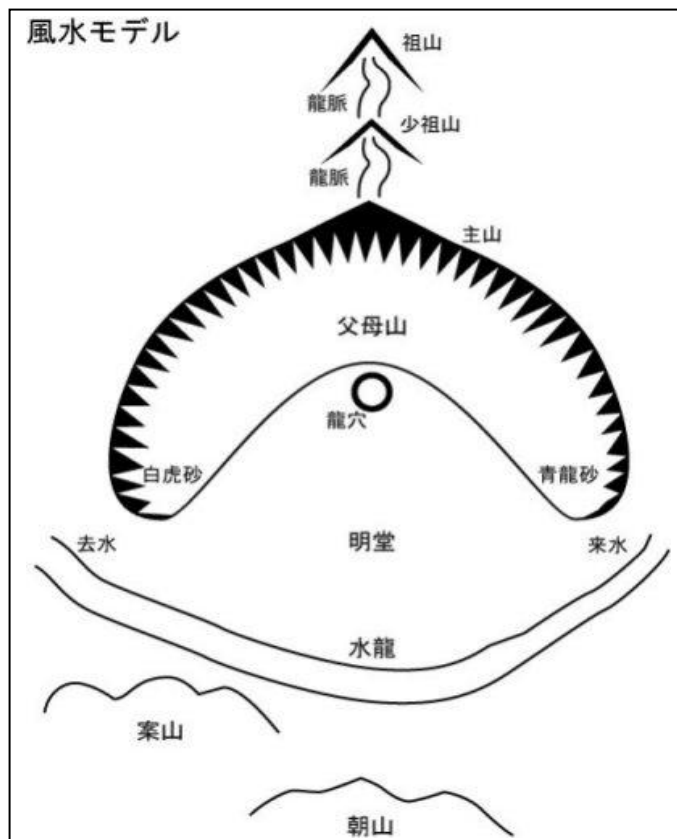
6. 広島の風水を考える

吉村 徳 則

6.1 風水モデル

風水は古代中国から伝わる地勢・地形の吉凶判断手法で、都城の選定に使われた。風水という語源は「蔵風得水」からとされ、これは風を防ぐ山が北にあり、南には川や湖、あるいは海など水のある環境を風水が良い基本的な条件とした。この図で租山というのは、先祖の山ということであって、一段と高く聳える高山のことをいう。風水では、この高山から大地の気が発生し、そこから連なる山のライン(これを龍脈という)を通過して気が流れるとした。少租山は、租山より少し低い山だが、祖父の山という位置づけ。主山は父母山ともいう。この山は逆凹の字形をしているのが理想形である。人体を例にすると、両手で氣功をしている形である。つまり左手が青龍砂で右手が白虎砂となる。中心部の前方に龍穴(りゅうけつ)という場所があるが、これこそが氣の吹き出し口である。さらに前方には明堂(めいどう)とあるがこれは父母山の前方にある平地であって、ある程度の広がりがある方が良くとされる。龍穴から湧き出た氣は、明堂へと拡散して行くが、水龍すなわち河川によって区切られ、そこへ止まるとしている。しかし、それから先へ進んだ氣も、案山(あんざん)、朝山(ちょうざん)という2つの大きな障害物によって止められるという。このような地形を理想的な風水モデルとしている。

図1 風水モデル



Historic Variety on the Earth

6.2 龍脈のライン

鳥取県の大山(1,729m)から広島県境の道後山(1,268m)、さらに広島市安佐北区にある白木山(889m)から東区の牛田山(261m)の東北から西南のラインを龍脈と想定する。そして、さらにその延長線上には宮島の弥山(535m)が位置している。中国地方の地形は東北から西南へ向かう直線的な断層線が特徴的である。地図で確認すると大山を起点とする宮島までのラインは道後山、白木山、二ヶ城山など主要な山をつないでほぼ一直線に並んでいる。

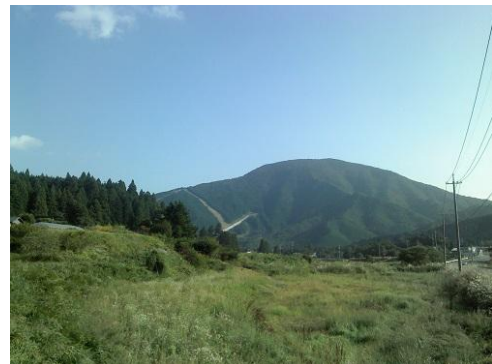
図2 広島へ入る龍脈のライン



写真1 大山



写真2 道後山



大山は火山であって、有史以後は噴火していない、しかし、大地の壮大なエネルギーが巨大な山として隆起し、現在の姿となっている。

規模の点で比較はできないが、我が国最高峰の富士山(3,776m)は最大の祖山であって、この龍脈は風水説によると丹沢山地などを通じて東京の皇居へ入っているとされる。つまり皇居のある場所が龍穴ということである。

写真3は基町市営高層住宅から撮影したものだが、左手が神田山、中心が牛田山、右手が二葉山となっており、牛田地区を囲むような地形を形成している。ということで、

Hideyuki Kamiryo

図1でいう水龍は京橋川と位置づける。明堂は牛田と想定できる。しかしこの明堂は小さい範囲であって、内明堂とし、その水龍の外側つまりデルタ地帯を外明堂とする。

写真3 牛田山系



写真4 牛田山から見た宮島(弥山)



6.3 龍穴の地

それでは、龍穴の場所はどこだろうか。そもそも龍穴とは、氣の湧出する場所であると前述した。はるばる龍脈から流れた大地の氣は明堂を前にして、最後のエネルギーを噴出させ地を盛り上げる。それで、小山や丘が出来上がる。古代の人はそこを感覚的に快適な場所として居住地とした。また時代が下って神社仏閣を建立した。私は地形から牛田早稲田神社をその地と想定した。同社は永正(えいしょう)8年(1511年)開基。同社の案内版に、古文書には「地を一変し、一小丘を作り」とあるが、古地図によると牛田山からつながる小丘であったようで、それでは小さいので盛土をして広げて境内地としたようである。その拝殿横からは弥生時代の貝塚が発見され、さらにその下の地層からは弥生時代の人骨が発見された。このことは、当時この近くまで海が迫っていて、この地は少し小高い場所であったと想定できる。よって、当地に生活した弥生人もここが平安な地として安住していたのであろう。また、牛田には白龍伝説があるようで風水と通じるものを感じる。

写真5 牛田早稲田神社



写真6 弥生時代の古墳跡



Historic Variety on the Earth

6.4 広島市の風水と四神相応

風水で都市を見ると、四神相応という考え方がある。四神相応とは、古代中国で考えられた4つの聖獣を方位の象徴物に当てはめるものである。すなわち、北に玄武を象徴する山。東に青龍の山。南に朱雀の海、または湖。西に白虎としての山という配置である。これらが四方を守護することによって、その都市が安泰であるというもの。この代表的なものとして、京都の平安京である。

広島市（旧市域）の地形を見ると、北南、東西というラインが東北と西南、東南と西北ラインに傾いている。鯉城通りは平安京の朱雀大路と一致する。

図3 広島市の風水図



広島城築城の経緯としては、毛利輝元は天正17年（1589年）に北庄村、福島元長の案内で五か村に城地を選定したとしている。広島城を築城する際、毛利輝元はまず新山（神田山）に登り、宮島にある弥山の頂上との間に一線を引き、次に二葉山と己斐旭山に登って一線を引いて、その交差する点が箱島（現在の白島）の南を天守閣の位置と定めたと記録に残っている。これは風水でいう龍穴選定術と重なる。

Hideyuki Kamiryo

(注) 先の牛田早稲田神社を小龍穴とし、広島城を大龍穴と位置づける。
芸藩通志(浅野藩の公式文書)に曰く、「府の地、廣平沃衍(よくえん)にして、四方皆封内の郡邑(ぐんゆう)なれど、三隅は岡嶺立並びて、府を護衛し、南の一隅は、江海外に環り、島嶼亘帯して、遙に屏風をなせり、巨川北より来り、並びに 郭郭(ふかく 区画のこと)を衝(つ)くが故に、城北にて数派に分ち、水勢を殺(そ)げり、城の左に二派、右に三派を通ず、本末東西の別ありといえど、並びに南流して海に入る、城南更に二港を鑿(うが)ち、海に通じて舟運に便す、四氏繁殖、百貨輻湊し、實に中州の重鎮にして、山陽第一の都会なり」と記されている。この言葉は山が都市の両側を守るように立ち並び、川がゆるやかに流れるという風水という吉地を表している。正にこの文章からも広島市(旧市域)は風水都市であることが分かる。

6.5 風水都市広島

風水の言葉として、「山に寄れば健康を、水に寄れば財を得る」という言葉がある。これは山によってマイナスイオンのエネルギーを受け、住民が健康になるというものだ。また、水運によって財貨が移動し、商都市として繁栄するということであろう。

山間地においては、戦後、住宅開発によって緑地が著しく減少した。一方、6つの河川においては、かつての白砂は見られなくなって久しい。

風水都市広島が大事にすべきは、山間部の環境保全。これは、山の緑を残しながら開発をしていくこと。たとえば神戸市の六甲山で行われている緑化の取り組みが参考となる。また、川辺においては、泥土や瓦礫を取り除いて、白砂のある憩いの場へと変わることが望ましい。

また、風水でいう龍穴に建てられた広島城であるが、残念なことに素晴らしい気を感じないのである。これは、原爆によって、その土地や建物、石垣が焼けただけのことによるものかも知れない。せつかくの風水拠点である。昔ながらの配置を再現したり、お堀の水浄化に取り組んでもらいたい。これらによって、氣の流れが良くなり、市民の憩いの場になるほか、観光客が増加することも期待できる。

風水というのは、そもそもが地勢・地形学である。広島が風水モデルとして素晴らしいものであることは残念ながら知られていなかった。しかし、風水という素晴らしい立地環境を活かした心地よい都市づくりに取り組むことはそんなに難しくないと考える。機会があれば自らその絵図を描いてみたい。

著者 吉村徳則 (株)成研 代表取締役、現代風水研究会 会長

参考資料

「図説風水学」(目崎茂和著 東洋書籍)、「風水の本」(学研)、

「図説広島市史(広島市)、広島城天守閣総合案内(財)広島市文化財団)

広島城四百年(中国新聞社 編)、新広島城下町(広島郷土史研究会 編)

ランドサップマップ中国・四国(東海大学情報技術センター)

以上

Historic Variety on the Earth

7. ここまでの締めくくりとして

上 領 英 之

光陰矢の如し、2013年5月の粗稿とき起こしが一年の短ささを感じさせます。日本の歴史、日本の文明の姿をこの地域に求めてでありました。この間、不思議なつながりを得て、お伊勢参りが最高のタイミングにできました。巖島、石鎚、出雲、大山、伊勢が一挙に連なりました。伊予石鎚神社の『本教』は、神仏習合という古来よりの日本文化システムのもとに誕生した新命名でした。明治の初めの廃仏毀釈は、日本農耕文明という世界に類まれなシステムを分断しました。にもかかわらず、動的バランスの回復は、つねに、どこでも、瞬時に起きてきております。もともと、石鎚の祭神と伊勢の祭神とは、父方・母方をともにいただいております。また、日本文明は、八百万の神々と仏様とをとともどもいただいております。

その原典の場合は、連綿とした皇大神宮(内宮)・豊受大神宮(外宮)と109の分社ならびに当初以来絶えることのないお伊勢参りに表象されてきております。形だけの廃仏毀釈は、心の通った神仏習合に戻ってきております。かりに宗教が宗派争いを起こすとすれば、それは、その本質を外れた私欲の側面を強めております。また、宗教という名がついても、つかなくても、宗教人を超える人々は、決して少なくありません。問題は、その立ち位置がどれだけ絶対の存在、Nature, absolute existence beyond space and time に近いかどうかというレベルに尽きるように考えられてきております。哲学と宗教との区別も、どれほど、大宇宙から離れているか、あるいは、和合・融合しているかどうかにあります。もし宗教や哲学が theory = practice, learning by doing を旨とするならば、疑心暗鬼は氷解するという宿命にあります。宗教と科学との関係でも、同様ではないでしょうか？

宗教や哲学は自然科学や社会科学とは、別物でしょうか？個人は、人口の数だけ考え方を異にするのが、眞の姿、筆者の場合は、別物否定です。自然界に近づくほど、本来の姿をあらわすという点において、どんな縦割りの部分も、謙虚でなくてはなりません。いにしえよりこのかた、謙虚さは、先人のもっとも大きい公約数でしょう。謙虚さは、中庸そのものを大きくみたものでしょう。中庸の真髄は、平面(the two dimensional planes)ですべてを表現する筆者の場合ですが)の原点であり、人は、原点のすぐそばまで、どなたでも、近づけます。それが、教育や研究のあるべき姿、平等と自由であり、具体的には、千変万化の、flexible な姿でしょう。国民経済でも同様に解されます。苦しむ、苦しまないは、個人個人の心だけでしょう。

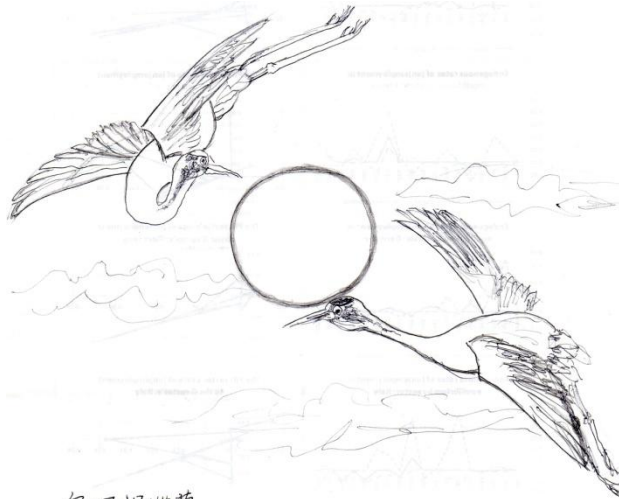
すべて、個人の立場が出発点、個人の内面に全責任が存在します。心に苦しみのない人を仙人というのでしょうか。わたしたちは、いつでも、極楽にも、地獄にも、乗車できます。乗り換え自由です。また、一瞬のうちに、変動します。それを、どれだけ、どこまで、認識できるかどうか。人は、つねに、自然界に目を向け、目をそらすことなく、自然界を優しく包むほどの受容風呂敷を夢みるとき、アダムとイブは、再生します。また、忽ち墮落します。

その普遍の測度は、心の幸せでしょうか。自然界を労わるとき、人類は、いにしえの本来の力を取り戻すのでしょうか。修道の中庸の精神は、実践を通してのみ、現実に体

Hideyuki Kamiryo

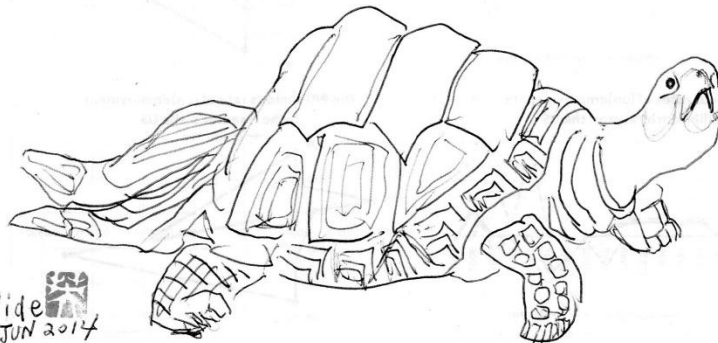
現されていきます。組織の場合には、organic system をどれだけ体得できるのか、これは、理論という狭い範囲をはるかに超えた力でしょう。

読書 100 回、意おのずから通ずとか。あまのじゃくを否定しない筆者は、否といたします。実行せよ、走れ、走れ。無鉄砲に智頭の山のなかで、あちこち、いきあたりぼったり、山道を間違えるアホー鳥でした。固執する心を解放せよ、の掛け声です(10May 2014、そのままです。説明不足は、後篇 2-2; 28Aug 2014 に補足)。以上



鳥羽胡蝶蘭
4-5, Jun
2014

Hide

Hide
4 JUN 2014

亀の井
松尾神社・桂

おやおや？ 天と地ですか！

楽しい一泊バスの旅でした。五月が丘の氏神・白山神社、石内川そばの愛媛石鎚神社本教西教会の皆さんに心から感謝を申し上げます。

日本の文化：つるかめの文化、手先の器用な精緻さ、機械の精密加工技術

日本の文明：悠久の大自然・神道・神仏和合・絶対神・大神さまの古代から繋がる農耕

Historic Variety on the Earth



9月8日、王建雄が上海からきましたので、宍道湖を一周して松江市、それから、玉造温泉で、1時間温泉浴して、日帰りの束の間の旅を楽しむことができました。宍道湖の向こう側にある Vogel Park(花鳥園)がお目当てでした。帰りは、東に、満月、西に太陽の赤い光を、はじめて同時に車中でみて、興奮しました。めったにない機会とはしりませんでした。玉造の青の家温泉旅館は、偶然入ったのですが、藁の鶴・亀が出雲大社に奉納されております。上のスケッチは、王建雄の所望で、デザインしております。すべておまかせです。中庸への道が真ん中にあります。稲の穂は、自然の恵み、たわわの豊かさでしっかりついております。ふたたび、出雲大社との繋がりに、自然の green 循環を、ともども感じさせられました。中庸こそ、平和への行動の原点です。実行こそがすべてを国民の平和に導きます。Yin and Yang 原理は、双曲線経済学(Hyperbola Economics towards A Utopian Economy, xxxii+600p., 15 July 2015)において実証の測定に展開しました。

MATSUE VOGEL PARK

"Vogel" means bird in German. Our indoor flower garden is one of the largest in the world with a dazzling array of flowers centering around year-round blooming hydrangeas and fuchsias. Also, in addition to two bird aviaries, rare birds are on display in locations spread across the entire park area.

● Open: 9:00 am
 ● Close: Times differ depending on the season (contact for specific times)
 Entrance reception closes 45 minutes before closing time (open year round)

● Entrance fees (per person, tax included)

	Individuals	Group (10 or more)
General admission	1,000 yen	600 yen
Foreign adults	1,000 yen	
Foreign children	540 yen	
Infants	Free	

● For safety, for the benefit of other visitors, visitors must display identification that includes age and is issued by a public institution, a passport or Alien Registration Card for foreign visitors.

● Transportation at once from airport to Matsue Station
 ● About 10 min. by rail from JR Matsue Station
 ● About 10 min. from Matsue Station
 ● About 10 min. from Matsue Station
 ● About 10 min. from Matsue Station

A flower and bird paradise under a beautiful sky!

Matsue Vogel Park

Address: 52-1, Otsu-cho, Matsue City, Shimane Prefecture 690-0083
 Telephone: (0852) 89-9800 Fax: (0852) 89-9801

Website: <http://www.vogel.jp>
 Blog: <http://vogelpark.blog47.fc2.com/>
 Twitter: <http://twitter.com/#!/matsuevogelpark>

Center Greenhouse

8. 同級生のつどいに寄せて: 故郷の同級生さいごの会に出席して

on 21st Jan 2015

今朝(12月12日)、出かける直前、編集担当河野正夫氏から再度電話がありました。校正の郵送やりとりに時間がかかる、のんびりしたことと言うなという仰せでした。広島市内繁華街では、たくさんの用事がはかどって、4時すぎ帰宅、氣をよくしました。よし、今日中に仕上げるぞという氣になりました。題名を考えました。思い出の2014年11月11日(火)を基点として、すでに1か月、そして、広島の地に落ち着いてから30年、光陰矢の如くですね。

題名は、ともかくとして、締括りがすぐ決まりました。河野正夫氏の電話のなかで、イラストを考えるという言葉がヒントでした。締括りは、たくさんの挿絵にしました。すこし困らせてという魂胆も出ました。挿絵を寄稿の「骨格」に据えると、編集者は、下手に削除できないでしょう。骨格を辞書で見ると、スケルトン(skeleton)でした。

湯田温泉から山口市内一巡後、広島・巖島・瀬戸内海の四季を振返ってというスケルトン、いいねー、自画自賛。やがて寄稿文は、家族の目に触れるので、ソフトに、謙虚に、と自分に言い聞かせました。めでたし、めでたし、筆をすすめます。

心当たりからかき集めた、素人のスケッチは、サイズは、大小さまざま、色は白黒のままになっています。一つ、一つ、力を抜いて、うっすらと化粧しました。A3全面に何とか配列して、歩いて3分のコンビニでカラー・コピーを奮発、明朝、宅配にて河野担当に報いんという段取りです。

文脈にアクセントをつけます。3つです。3は、ミと読みます。ミは、かみに通じます。氣をまわさないでください。いにしへのわからない先祖のことには、ふれません。3つ目は、より自由な画です。少し無理(コジツケ)が滲み出ますね。

日本語は、相手の立場を尊重してきました。読む方が解釈するという言語だそうです。ただし、世界一難解、副詞だけで通じる第4番目の言語系では、ほかにはないそうです。

- (1) 母系家族のワケ・平和の原点
- (2) 疎開時代を振り返り
- (3) 自由なイラスト画に全面的委託

母系家族のワケ・平和の原点

男と女、それぞれの役割がはっきりしています。正三角形で示すと、男が逆正三角形、女が正三角形です。土台が点と線、比較できません。女性は、まずまず不精ブショウでも一応相手を選んで結婚、子供が成人して、孫ができる40-60年と長い周期を本能的に知っています。長期・安定志向です。争いを避け、平和を望みます。男性は、すべて逆です。瞬間シュンカンをenjoy, 冒険や投機にも走ります。夢を食べる動物ですね。

Historic Variety on the Earth

一国でも、真に(lip service でなく、全行動すべてに)、女性優位の国は、安泰です。人類の歴史が証明しています。今年 8 月に、国連大学長が原爆資料館で講演をしたとき、名を伏せて、予定外の質疑をしたら、大へんうれしそうに、**women; absolutely the first priority** と三回、力強く、大声を出してくれました。聴衆は、80-85 %以上が老・若の女性でした。広島・長崎・福島と日本民族は、なによりも尊い人命を犠牲にしました。

大自然は、陰徳を蓄積した **unique** な日本の農耕民族が世界平和への礎として、地球上に浸透して、人類本来の姿に「回帰する日の近し」を知らしめていると、いわれております。3-5%の方々がそのような心根をもつだけでも、全体が平和に包まれるというのは、眞の事実ですね。

疎開時代を振り返り

旧制中学2年度末に近い、昭和20年3月19日、B29の24時間連続大空襲が名古屋城をはじめ市内を焦土と焼きつくしました。その時、鶴舞公園の池の近くで、九死に一生を得ました。体から1mの至近距離に不発弾36の束が地中深く刺さりました。その瞬間、体を伏せたまま、とっさに転がって助かりました。

学徒動員で、中学1年生、2年生とも、小牧飛行場のモッコ手作業による地ならし；100m 桜通り東西貫通計画促進のため、立ち並ぶ家を壊し、その屋根瓦や廃材を名古屋築港へ軍用トラックの屋根にしがみついて運搬；大府地区女性家族農家へ配属されて、生徒の農耕作業；高蔵寺山中高射砲陣地での徹夜の弾磨き；春日井陸軍造幣廠への朝5時からの通勤、級友の全体数が焼夷弾・焼夷爆弾・焼夷弾・B29からの機上掃射死等で毎日大きく減少；真夏のかんかん照りの日になされる3時間を越える校長先生の校庭訓話、その横には、20才より若い配属陸軍将校が生徒全員のまっすぐな指先を注視、直立不動を監視、ビンタを打つ等。

女子挺身隊員数千名（旧制中学の1,2年生）は、三菱や中島の航空機製造工場で、一瞬のうちに、爆死。すべて、空襲サイレン警報による防空壕への避難行動の裏をかく、あるいは、間断ないB29空爆の結果です。

平和のありがたさは、実践しかわからない事実体験です。体のみが事実、頭のほうは無関係です。いつの日か、広島の被爆幼稚園長宇根先生の命のように、事実体験の語ら部になるのかなと、最近では、日夜、心・身を大切にいたわっております。

横浜から名古屋に引っ越したのは、小学校4年の春でした。父は、一人っ子の私にきびしかったです。日曜日には、天気であると、名古屋市郊外の里や山にハイキングに連れて行ってくれました。無性に懐かしく、いまの瞬間、父と一緒に、ここに思い出を書き始めました。犬山近くは、すべて、桑畑でした。桃太郎神社や遊園地が木曾川の洲にありました。高蔵寺、龍泉寺、濃尾平野は、随分歩きました。

それから、3年、中学入学、1年生の夏、中学生全体のマラソンがありました。中学(いまの旭が丘高校)から小牧を経て、岐阜まで、40km, 岐阜から一宮まで、20km, 一宮から名古屋駅まで、20kmです。中学体操部所属でした。毎日、暗くなるまで、3.4年の先輩方が鉄棒を指導していました。失敗すると、今池まで走れ、走れの掛け声で、走っ

Hideyuki Kamiryo

て往復、速度が所定時間を越えると、やり直しのきびしい掛け声で、毎日、暗くなるのが待ち遠しい日々でした。そういうわけで、8時間内のマラソン大会では、一宮まで60km走りました。名鉄電車に乗って、新一宮駅から地下の新名古屋駅に着いたときには、足が硬直していて、歩けませんでした。親切な大人が私を抱えて、地上まで、運んでくれました。

鶴舞公園のそばには、大学病院がありました。春日井の陸軍造幣廠通勤は、鶴舞公園発朝5時でした。毎日の空襲です。大学病院も、繰り返し、繰り返し、空襲を受けました。まだ太陽はみえず、暗く、ひろい焼け跡から地面に青い蝋燭のように、無数の人体から出るものが、とろとろ、ゆらゆらしておりました。その火(ほのお)の状態を幾日も、幾日も、汽車の窓から見ました。いまでも、脳裡の片隅に、焼き付いております。

戦災の翌日、消防隊長の父は赤紙が前日きていたため、山口42連隊に応召、なんとか汽車を乗り継いで、間に合ったようです(忌避は、憲兵が即銃殺)。現在の今八宮・神福寺のヨコです。私ども残された母・子は、上空がサーチライトで絶えず光る中、父の最終の勤務会社(一宮絹・人絹織物統制配給会社)の倉庫まで歩きました。その途中で、なんども、味方の飛行機が墜落するのを、この眼でみました。機銃掃射を避けるため、何度も、リヤカーを置いたまま、田んぼのくぼみに潜みました。

父の母の里、山口に疎開して：

旧制山口中学校(山中)は、山口県内からの生徒を寮生活させる別制度の学校でした。中学の転向後、8月15日まで、徳山海軍燃料廠に夜勤の試験管作業が続きました。それ弾が寮のそばに破裂しました。シュウ酸という臭い産物は、山中で女子挺身隊員が空き缶に集めた松根油に入れると、ゼロ戦の航続距離が1000kmから2000kmに延びたことを、あとで知りました。いまの瞬間、宮崎の場に向かって、お詫びをいっております。以前は、目をそらしたことも多々ありました。思うたび、避けたい気持ち、今はやっとゼロとなりました。なんでも、素直に心に受け入れてきております。それは、平和がおそまきながら、身についたからでしょうか。

8月15日朝、東の宮城に向かって、海軍将校の号令のもと、敬礼をしました。夜勤後、朝食前の日課です。そのとき、ピカと光りました。そのすぐあと、原爆雲が空高く舞上がりました。しばらくして、大きな爆音でした。80km東に、この目で事実の瞬間でした。これも、縁、大切にこの体験を秘めて、守って、将来の眞の平和に捧げたいと念願しております。

山口の生活体験は、昭和26年4月までの6年ですが、貴重な、かけがえのない日々でした。父の母の里は、西白石山麓です。今は、高速道路で分断されております。でも、いまでも、その古い家が残っております。終戦直後には、急激なインフレのため、預金は、十分の一とか二十分の一以下となり、使える紙幣に証書を貼り、あとは、ハサミを入れて、刻みました。国債は、戦時中、給料の40-50%を購入した場合でも、すべてゼロに

Historic Variety on the Earth

なりました。それでも、3重苦(東西分断、賠償金支払い、東独の格差吸収)の厳しい受難のドイツに比すると、はるかに恵まれていたと、いわれております。恵まれたという事実は、人間である限り、比較できないと、認識できず、感謝も起きないですね。

家計を助け、学費を得るため、誰でも、闇市でも、なんでも(物々交換；炭焼き；シイタケ栽培；小・中・高新制度に合わせて、山口県下の小・中・高数の50%を訪問、学校図書充実のための時事通信社図書の直接販売、等々)しました。裁判官や警察官が餓死する記事が毎日紙面に出了ました(再掲)。このような体得は、求めても、得られません。

その上、何よりも、幸せであったのは、化学肥料のない時代に成人できたことです。舌は、本物を一度でも食すると、もう一生忘れないというのは、不思議な事実です。本物と偽物との区別のできるのは、80歳代に限定されます。いま、今世紀に入って、ようやく、本物志向の時代が訪れてきております。一步一步の自然への謙虚な回帰がすでに世論になってきております。

このあとは、26年11月11日(火)、口に3重にかけた、「自己顕示欲予防チャック」をはずして、野口源吾さんをダシに、おしゃべりしました。もう省略します。その前の10日、終戦直後の炭焼きの現場近くの新道を通って、萩まで足をのばして、旧交を温める機縁に恵まれました。その後の12日、山口大学経済学部や図書館で、ひと時を過ごして、母校の有難味を改めて知りました。また、県庁では、資料館に入って、祖父(県職員)と父(次男、母方中野家の血を受け継ぐ)の残した言葉を噛みしめました。

本通りも、変わりました。地元の店を郷土愛によってどうしたら相続の壁を乗り越えて、これからも存続していただけるのか、何度も、左右の家並みを見て、懐かしく往復しました。本通り文栄堂の建物40年は、本通り最古になりました。父と一緒にお茶を買っていた、すこし湯田寄り、はずれの角、武谷清風堂は、いまでも、なぜか、店の元気ハツラツさを感じさせます。

これこそ、生業(なりわい)そのものでしょうか。みなさん、地産・地消、本やお茶を「なりわいこ」(副詞扱いに少々無理があるかも)買ってください。食べ物こそが元気のおおもと、そのうえ、食欲まで十分に満足させて、『これほど恵まれた、自然に近い循環の社会生活はない』と感じております。この帰結(『これほど恵まれた、自然に近い循環の社会生活はない』)を本寄稿紙面のはじめのほうに、思い思いに(伏して、個人の自由の範囲内において)、繋ぎ、そして、循環させてください。

2つ目が長くなりました。ごめんなさい。やっとな、3つ目です。住めばどこも故郷。ニコニコ繋ぐアチコチの画に、3つ目を飛翔・全託させてください。(2014 12 12 記)。

9. 平和への思いとともに：締めくくり

on 21st Jan, 2015

上記の一文は、旧制山口中学 55 期生の会報 No.56 付属文集最終号に、寄稿したものです。その会報は、『絆』という名のもと、56 回存続しました。さいごの会(2014 11 11)には、25 名が出席できましたが、その 1/3 は、車椅子でした。筆者は、ご無沙汰ばかり、そのおわびに、湯田温泉に里帰りした次第です。補足をしますと、寄稿文には、画を 2 葉つけております。2 葉の画は、湯田温泉と山口県庁玄関の記念碑です(次頁)。

3 冊目の”Hyperbola Economics towards A Utility Economy”は、”Earth Endogenous System“ (2013, 1st ed.)以来お世話になっている Better Advances Press, Toronto, から July 2015 出版されました。Oct 2014 に、IMF DATA Communications の方々と 2 週間毎日の得がたい研究・討論のおかげがあったため、どんな現存のモデルやシステムでも、比較できる GDP-base の KEWT Database 9.15, 1960(LONG) / 1990(Short)-2012,が完結できました。ただ、up-dating に相当の時間数を要したため、11 月末終了予定が 2 か月おくれました。

終了記念の自分に対するご褒美に、2 泊の宮浜温泉・旅館かんざきを楽しみました(2015 1 17-18)。夜の庭園がきれいで、食事もおいしく、2015 年は、瑞雲はじめ、いくつかの山に行くことを思い立ちました。温泉の湯が、崩れて痛む両手指先のしもやけも治してくれました。となりには、「べにまんさく」という住民が通う湯があります。そのよもぎ湯にも、せっせと通いました。母からは、いい目をいただいているので、血行不良の DNA はタンとおつりがきます。なによりも、生かされていること、この事実に対する認識不足を、感謝不足に置き換えて、毎日、自分のおろかさを噛みしめております。

また、北に並ぶ連峰を、獣道まで歩きました。17-20 才の終戦後の疎開先で、週末炭焼きを続けていたので、どうしても、血が騒ぎます。海岸は晴れていても、細道やけもの道は、雪やヒョウが予告なしでおそいます。ダムがあり、丸石川の源流です。ダムの西峯に、吉田松陰の腰掛石があります。その付近一帯は、明治維新当時の激戦地域でした。また、旧山陽道では、もっとも険しい難所と書いてあります。旧山陽道の下を走る道路には、住民のための地域バスがお年寄りを運んでおります。一回 150 円ですし、JR 駅や広電駅とも接続されていて、地域社会の縮図を勉強したという思いです。やはり、歩くと、棒でなくて、地域社会を learning by doing することになると、つよく感じました。

吉田松陰の腰掛石は、萩から江戸への護送中、3 州(長門・周防・安芸)を展望できる場所と、立て標識に説明があります。当時の戦士びとは、辞世のうたをその場に残しております。すごい日本文化・文明の社会であったことを思い、涙が止まりませんでした。松陰の辞世のうたを、腰掛石に紙を置いて、雪にも、涙にも、目を曇らせながら、写しました。今世紀は、URL や real time の情報化社会、そのためでしょうか、20 世紀にどこかで消されたような事態はなくなってきていると、感じました。人命の尊さも、ひと際強く認識されてきております。そのしあわせを感じて、世界平和に、日本のつつましい平和への言葉と行動が世界に愛され、世界に尊敬されるほどに、道が開かれていくことを思いました。原爆の宇根幼稚園長実行された語り部(role)は、これからますます重要になります。今世紀の巨星哲学者: 言葉=行動=哲学=平和の真髄を追及。

Historic Variety on the Earth

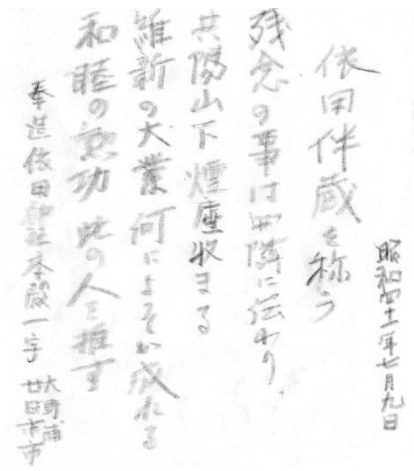
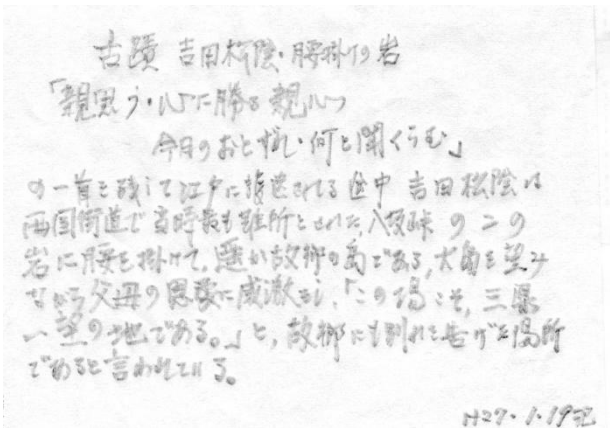
From 18 to 20 Jan, 2015



Bright Sun early morning, closer to Nature



Parents and family,



Hideyuki Kamiryo

Connected beyond space and time: back to Wesley and Li Chang, NZ, from Classmates, Yuda

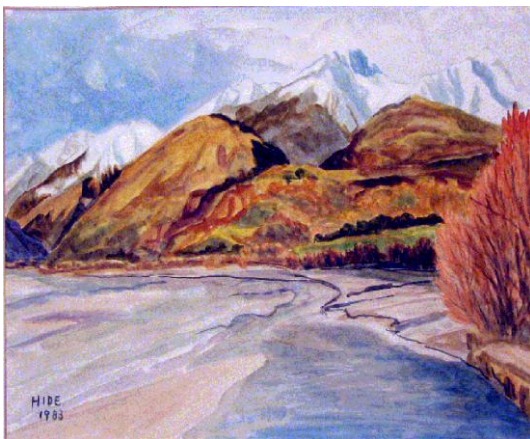


NZ

Every day my mother had recited meadow fairy tales between baby and schoolboy:
In Yokohama City Library, Park Nogeiyama, full of lawn hills



Lincoln in 1979-83



Lincoln College in 1983

Historic Variety on the Earth



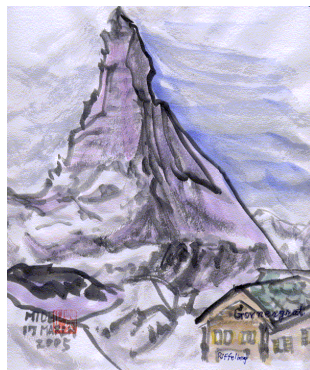
Peace from Paris to Luzern, Switzerland



In mountains taking walk and trains, where intuitively I got a base for my diversified model



Towards my peace green cycling PhD student, Wang Jianxiong, Shanghai, China



10. 個人と社会 up-dated on 24 Jan 2015

平和な社会を願う個人の集合が社会です。それなのに、社会には、そうでない現象が続いてきております。国は、戦争がもうできない中、紛争が続きます。人々は、疑問を感じながら、どうしていいのかわからない苦しみを味わいます。人命の尊重は、人類の生存の最高ともいえる定めでしょう。希望と失望との交錯する社会と人びとかもしれません。しかし、一步一步明るい兆しを感じはじめた社会と国際協調をスケッチしてみます。

フランス政府の国民への説明が新聞 (読売 1月 22 日) に報道されました。6 億ユーロ (900 億円) の緊急財政負担を、テロに対して、テロに追い込まれないような社会環境を整えるために支出すると書いてありました。フランスは、移民人口が全体人口の 7% と高い国、超低賃金で、フランスの社会に貢献してきました。にもかかわらず、イスラム過激派が人道にもとると、それを攻撃するのは、決して解決にならないという論理です。イスラムの大多数は、穏健派です。しかし、どんな職業であれ、日銭も得られないと生きていけません。社会がそのように若者を追い込まないような社会の仕組みこそ、解決への一歩という長期の政策に整合します。

多くの西洋国家は、植民地主義のもと、正当な賃金を利潤のほうにシフトしたいきさつがあります。アメリカは、それを改める夢の国として、立ち上がりました。筆者は、人と社会とを結びつけるのは、社会的なシステムという立場から、決して壊れない内生システムのメカにたどり着きました。英系植民地システムは、植民地主義のなかでも、整合性が地球全体に維持されていきました。そのシステムは、国がその多様性を深めている現時点でも、インド、シンガポール、マレーシア、南ア等の社会システムのなかに、伝承され・根づいて、活性化してきております。社会システムは、その体制が民主的であれ、独裁であれ、国民のための 100 年先を見据えた政策の一貫性さえあるならば、経済的にも、もっとも安定・平安・平成されるという希望に満ちた結果 (KEWT 9.15 database, 1960-2012) を事実としてみせております。23 日早朝の MIT on line によると、現実社会は、すでにユートピアン社会に近づいている? という見出しの記事が掲載されております。昨今の NHK e テレでも、103 才日野原重明オーナーの朗読が続いて、希望への実践的原点は、相手の立場を思うだけでも、口に出すだけでも、生きる力が自然に培われてくると放送されております。すべての報道は、仮に偏っていても、個人は、政策の 100 年先の一貫性さえ理解するならば、それだけで、霞を食う仙人から解き放たれて、しあわせいっぱい的人生に即生まれ変わる、あるいは、有ら無への階段を鼻歌まじりに、楽しむ個人に、即変容するわけでしょう。

さらに、普遍的に云われていることは、感謝です。ただ、感謝は、空気みたいの存在ですね。できたら、当たり前、買えたら、当たり前、すぐ置き換えられ、忘れてしまいます。そのできた瞬間には、感謝できます。しかし、その感謝をいつまでもというのは、不可能に近いのが、当たり前です。結局、感謝不足を懺悔せよと、弘法寺のお師匠様 (1960 年) に教えられました。その意味がわかるまで、半世紀です。さらに、もう一つ、先祖を大切にせよと。すべては、先祖のおかげ、お釈迦さまも、それを言い忘

Historic Variety on the Earth

れて、500 年間、大白身如来として、再臨されました由でございます。お師匠様は、アメリカで脳医学の博士号取得のあと、103 才まで、神仏融合、実行を合言葉に、現世にお越しでした。言い残されてはいない言葉が平和でした。平和こそ、すべての実行の究極の姿、絶対神・自然の当然の帰結であります。宗教を信じないと否とに無関係に、哲学をはじめ、すべての科学の基盤には、平和が毅然と存在しております。相手の立場に思いを馳せることとの裏腹です。お師匠様は、広島に永住せよ、原爆ドームとともに、と。

日本の文明は、八百万の神々です。ここ氏神様・臼山神社のそばには、縁によって、最近繋がりを得た石鎚神社石鎚本教西教会があります。伊予の石鎚神社中宮成就社とふもとの本教とは、神仏一体の融合をはじめて創設されております。すべては、絶対神・自然から生まれております。その別け御霊が石内に祭られたのは、1929 年でした。

11. 平和と人間の社会 up-dated on 31 Jan 2015

平和憲法は、地球上の 192 か国にもっとも尊敬されている日本の原点です。このことは、国内ではなく、海外では、つねに実感させられます。平和を愛する国と国民がなぜ諸外国にもっとも愛され、尊敬されるのでしょうか？平和は、人間の社会の存続にとって不可欠の基盤であるからですね。自然に素直にしたがっております。ただし、平和は単なる理念ではありません。平和といえども、実行してその資格を万全に与えられます。戦争の体験は、その裏腹です。そこに、語り部の存在意義があります。

沖縄は、終戦のすこし前の 6 月には、とつぎよ、守備軍と住民との一体体制が切り離されました。海軍の田中総司令官(早く戦死)は、生命の大切さを常に口にしていたと聞きます。残された陸軍の総司令官は、一日でも長く持ちこたえることが沖縄の使命と考えていたと聞きます。1 月 25 日から 3 泊の日程にて、南部の激戦地を再訪しました。同年代数百名をまつる「ひめゆりの塔」ならびに広島県人の塔(慰霊の 33467 名)、島根県人の塔、山口県人の塔、石川県人の塔、和歌山県人の塔に心からの感謝を捧げました。

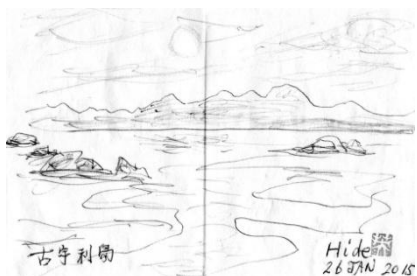
沖縄をはじめて訪問したのは、1964 年でした。たまたま、きんざい刊、『中小企業の信用調査』ほかの拙著がベスト・セラーをつづけていたため、3 週間の講義と主要企業へのコンサルテーションを、琉球銀行(当時は、米軍の直接統治下で、日銀の役目を担う)から依頼されて、東海銀行が応諾したためでした。わかぞうの身、コンサルテーション経験は、日本生産性本部の 1 年研修のあと、名古屋中小企業投資育成株式会社出向中の何年かのみでした。当時の琉球銀行人事部長漢那朝皎氏は、その間、親身に対応してくださりました。決して忘れない感謝を伝言のため、28 日朝、琉球銀行本店を訪問、上記いきさつをくわしく書きました。野原課長が多忙の中、対応してくれました。漢那朝皎氏は、その後、頭取を務めるかたわら、地域企業振興に尽くされ、今日の観光沖縄の基盤を固めて、たいへんな力を県民に残されたと聞きました。1964 年に回った企業の製品・商品を、今回、いたるところでみたり、飲食したりできました。建物は、一新されていても、その姿は、国際通りにも、公営市場にも、すべて変わらず、暖かい人情を伝えてくれました。沖縄は、薬草の宝庫です。食べ物との組み合わせも、本土が見習う立場です。自然食がたいへん多くて、びっくりしました。そして、やさしいですね。た

Hideyuki Kamiryo

いへんな苦勞をして、人は育つということわざを体感いたしました。

語り部は、当初24名が名乗り出て、すべての死に向き合った体験談を、ひめゆりの塔に隣接する資料館にて、毎日、続けられました。その数は、高齢化とともに、減ってきたため、いまは、県下の幼・小・中学校内で、会合を持ち、次世代の教育に、平和と命の尊さを語り続けていると、うかがいました。資料館には、日本国内の修学旅行とともに、まことに多くの観光客が世界中からきております。社会と人とのつながりをひしひしと感じたひと時でした。

広島では、被爆者の宇根幼稚園長が92才まで、語り部を続けられました。今回は、沖縄の語り部のさまざまな姿の勉強ができました。その年代がきましたあかつきには、社会への報恩感謝を心に誓いました。広島・長崎・沖縄・東北は、世界とつながる架け橋です。広島県知事と広島市長の言動は、率先して、世界への平和を発信しつづけております。そのあかりが次世代に根付く方向をいよいよ強くしております。日本文明は、つつましく、世界を平和に包み込むことを信じてうたがいません。合掌

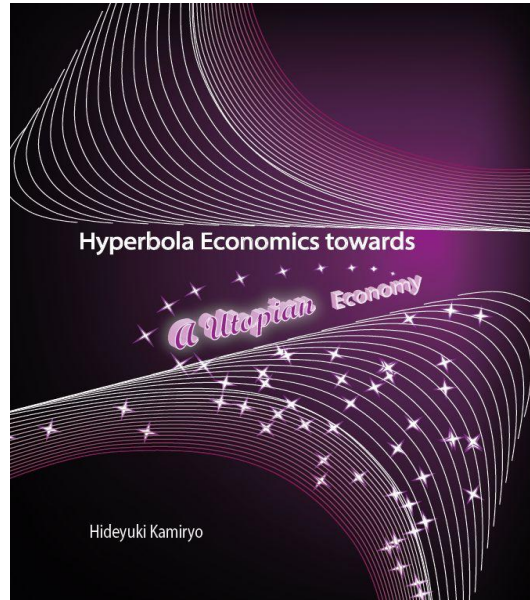
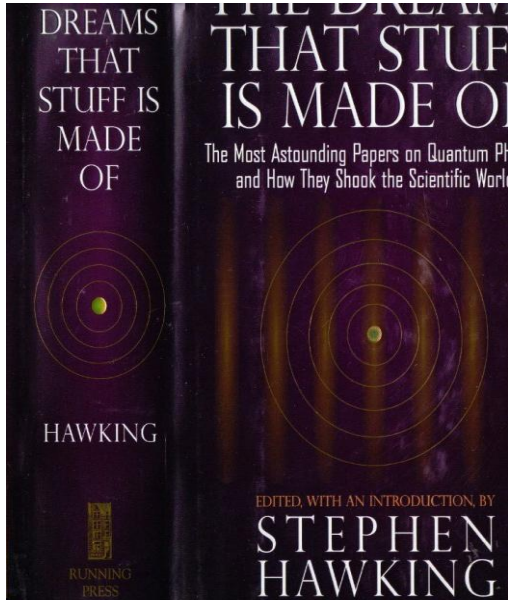


Historic Variety on the Earth



Ottawa, Canada, on Oct 14th, 2005

不思議な二冊の出会い：表紙にみる直感



2015 Joyce, Cover- Page designer, Toronto.

邦文説明と解釈：

上の二つの Cover-Pages は、不思議です。色が偶然とはいえ、佳く似ております。あたかも、同一のすごいデザイナーが同時に、続けて画描いたのではないかと、みなさんが云われます。

その上、事實は、Steven Hawking の志向体系と Hideyuki Kamiryo のそれとは、完全に重なっております。同一の宇宙への志向体系そのものです。謙虚に表現すべきなのですが、事實は、完全にオーバーラップしております。

なぜなのでしょう？

人類は、神仏と重限りなくなっていくという目標に支えられております。大自然に近づくことは、人類の目標であるためと、理解いたしております。

Historic Variety on the Earth

12. 山口市西白石帰郷と野口源吾同級生

on 27 Aug 2015

8月26日午前、久しぶりに、小郡(新山口)から山口線に乗り、上山口に下車、日赤の横を通って、神福寺に直行した。台風15号が北上のさなか、前泊の坂出を早く出発、遅れていたJR初発を乗り継ぎができました。由緒ある神福寺には、百済の琳聖太子のことが寺門の横の立札に詳細に記されています。また、その登りの突き当りは、竹林です。その姿は昔のままです。山口中学在学(終戦の年から3年間)のとき、復員の父、平左と一さんに連れられて、西白石からその竹林の小道を抜けて、上領家先祖(祖父賜朔の明治27年萩よりこれを移すという旧体文字は、苔で読めないほど)の墓参りをいつもしていました。父母同伴のように感じて、涙がぬぐえないままでした。

翌日、県庁よこの同級生 田畑の大好きの野口源吾を訪ねて、再会を果たしました。その折の酸性雨を心配した話は、その場で書かされました。その概容は、つぎのような文句です。保存したいと正直思いました。

(1) contact@pyrrole.com

ピロール菌を含む土壌によって、玄米がアルカリ性を完全回復。酸性雨によって、すべての玄米が酸性化。これを防ぐには、ピロール菌発明王、黒田与作(福井県南条市)の農法。その意味：世界中の人がノアの箱舟に乗ったワケ、共存共栄のみ。

- (2) クスリゼロ、食物こそ、130歳(体の機能は130まで許容)。食物は、肉の場合、その重さの3-5倍のジャガイモを食べる。魚の場合、その重さの3-5倍の大根を食べる。納豆、梅干し、豆腐、豆。大豆での、黒大豆、黒大豆を焼いては煮るを繰り返した汁は、内臓を完全回復させる。

自分の力で治す→自然が治す→土に親しむ。

- (3) 先祖に感謝、見返りゼロ(祈願でなくて、報告)。自己責任100%。

神仏と大自然に感謝あるのみ。

自慢話ゼロ。つねに控えめ・腹八分。謙虚に、謙虚に、謙虚に。

腹八分、眠り十分、通じ十二分。

ダメな例：ピロルは、がんの最大の後援者(逆も真の例)。

13. 二時間の前島、その出会い (2 hours in Island Mae on 13 Feb 2015)

On 18 Feb 2015

家内とその姉が私をさそってくれました。ホテルルマーニ2泊3日の久しぶりの家族旅行です。画の道具と日本紙を持参、JR岡山駅の長船行きプラットフォームにて、落ち合いました。しばらく振りのため、自分だけ朝いちばんで、岡山駅に、途中下車して、岡山県立美術館、岡山オリエンタ美術館ほかを駆け足で午前中3時間回りました。

天気が大荒れでした。黒い雲が天空を駆け抜けていく一瞬一瞬です。ロビーの大きな窓からも、部屋の窓からも、自然の猛威を思い知らされました。それでも、13日の朝方だけは、晴れ間という地元の方のお話を聞きました。急きよ、前島の波止場まで渡船しました。ときには、大粒の雨がどこからか道をたたきます。

昔の記憶をたよりに、島の高い稜線をめざして一気にかけあがりました。終戦後、毎土曜山小屋1泊を突然思い起こしました。山口県の屋根である、東西二つの方便山の稜線付近にて貴重な炭焼きを経験したためです。お駄賃に炭を4-5俵いただいて、日曜日の夜、山口市内の食品店(闇市)まで運びます。片道32km、その半分は、雨が降ると、はげしい滝のみちとなるよう「なけもの道」でした。徳川時代は、萩からの参勤交代に使われた坂道でした。残り半分は、天花(道路の終点)から山口旧市内までです。背中の笈の子から炭俵をおろして、手押し車に積み、一気に市内に走ります。

当時は、裁判官や取締りの警察官が餓死していて、新聞の一面に出ていた毎日でした。勉強のほうでも、火曜日と金曜日は、燃料節約のため停電、ローソク生活でした。いつ試験勉強したのか、さだかではありません。月が明るい時には、庭に砂をひいて、指で英単語を書いた記憶ぐらいです。

前島の稜線に話を戻します。細い小道以外は、一面がキャベツ畑です。キャベツは、摘みごろになると、ひとつずつ、玉として、まわりの古い葉を捨てます。その葉をいただいて、口の中をかむと、とても甘くておいしいです。こんなに新鮮でびっくりするほどおいしい野菜は、ひさしぶりです。舌は、忘れておりません。何十年たっても、自然の味(化学肥料のない時代の舌の記憶)は、即座によみがえってきます。自然の摂理ですね。すくなくとも、10歳位まで自然の味を知って育った人たちは、本当に幸運です。

玉としてのキャベツは、所定の箱に詰められて、全国に前島から郵送されます。玉としての形は、厚さ、直径、重さがすべてちがいます。人の顔を見ているようです。顔を上げると、中年のおばさんが立っておりました。その方の母は、若い時、広島赤十字病院の婦長さんでした。原爆投下の数日前、広島赤十字病院に移動になり、原爆に遭わず、こんにちまで生きていて、92歳とかうかがいました。その方の母は、生を得た分、懸命に社会のために働いた由です。いまでも、教育勸話をすらすらいえるんですが、少しボケが入ってきて、社会奉仕はしていない由です。

おみやげに、一個のキャベツをいただきました。こんどは、4月になってからゆっくり島で桜の画を描きにきたいので、おうちを教えてと尋ねました。「いやいや、こちらからあなたを探すから心配無用」。どうやら、島の主みたいです。島の傾斜地のいたると

Historic Variety on the Earth

ここで、婦人たちのキャベツ選定をみながら、島の突端まできました。あちこちの小屋のなかでは、婦人たちは、キャベツの詰め合わせに忙しく、きびきびして、顔が明るく、すごい島だと、感嘆しました。耕運機の中の男性に、道を聞いても、本当に親切、戦前に戻ったような錯覚をおぼえました。ひとの情けのすがたでした。

絶壁の角近くに、腰を下ろして、スケッチをしました。20mあたりの強風のため、紙が飛ばないように、必死でした。かえりに、高い崖のうえで仕事その男性と目が合いました。双方同時に、手をけんめいに振りました。私は、なぜここにきたのか、自問しました。そうだ、平和への語り部になろう、それまで、元気に、家族を大切に、よくあそび、すこし勉強を続けて、100歳からは、婦長さんを手本に、語り部に専心して、精を出すんだぞと、自分に言い聞かせた次第です。この2時間は貴重でした。いそいそと、生と万物に感謝して、渡船場におりました。

14. 語り部への贈り物を頂戴して

4 March 2015

知人から、30年近い昔、鎌倉に住んでいた時のなんしょ話を急に思い出したとあって、今日、伝えてくれました。その日のうちに、メモにと、手帳に書き込んだのを、ここに記します。原爆の死者は、20万人を越えます。当時、軍部は、その亡骸を、県内を中心に、土葬した由。その名が言えないといった場所は、鯛尾という海辺、呉より広島寄りです。そのほか、似島、これは知られております。問題は、それらの死者がいまも浮かばれずに淋しく日々を過ごされているという事実です。平和公園内は、年々世界中から弔いにきております。その場所は、浄化されて、美しい氣とエネルギーに満ちたパワー・スポットになっていると、多くの方が認めております。世代間に、この事実を伝えることは、語り部の大切な糧になります。

供養は、直近3代の先祖に限定さるべし、とは、私がお師匠様から、再々、教えを受けたとおりです。それでは、上記のように身元もわからないまま埋葬された方々は、どのように供養が行き届いたらよろしいのでしょうか？さわらぬ神にたたりなしで、そのままに放置されてはならない、目にみえないことには、フタをしよう、では、決してすまされません。世界各国が平和であるのは、このように隠れた犠牲者のおかげです。ここに、公的な社会の使命があるのではないか、社会資本とは、お金とは無縁のこうした活動を本来の目標とするのではないか、と語り部への思いを新たにしました。

また、山口県の柳井市からバスで行けるところに、祝島があります。その島は、航空写真で真上から見ると、完全なハートの形をしている由。その住民は、これまで、一切の政府補助金受領を拒否してきております。わかる方の話ですと、その祝島は、正に、神の島、エネルギーが湧き上がる島、すごいパワー・スポットの島です。原子力という、最終処理が不能な発電がなぜ優先するのか、それは、絶対神の決して受け入れられない欲得とお金の票そのものの姿にすぎません。後世の人類が認識している領域の外

Hideyuki Kamiryo

にあります。人類の本来の回帰を待ち望んで、そのときを辛抱強く、待っておられるにちがいません。

ただ、ここで、思いちがいをしてはならないことが、一つあります。それは、人に遺伝はないし、DNA という送り状は、ゼロという真実です。なぜでしょう？人は、食べ物次第で、体調や健康が左右されるのみです。この事実は、公にできません。人の弱みに付け込むあらゆるお金だけの産業に計り知れない打撃を与えるためです。本来、健康維持は、自然野菜中心が一番ですが、その逆が国の文明を破壊して浸透してきております。草の根以外に、おおよけの道はありません。お金だけの産業を包み込む社会が一層強くなってきております。それは、双曲線が理論＝実行＝歴史＝哲学・理念を測定できている事実に証明されております。

太陽のめぐみは、人知を超えております。まだ暗いうちに、一筋のカキ色の光が天空をとびます。それをみるだけで、相当なエネルギーを享受します。それから、やがて、太陽が昇り始めます。また、笑いはすべての病を蹴散らせます。なぜでしょう？脳の機能を自然と回復させるためです。アルツハイマーでも、がんでも消える力を発揮します。

病名や薬草を欲しいひとの場合には、たとえば、股関節の右が痛いならば、アルツハイマー、また、股関節の左が痛いならば、がんや肝臓がやんでいるとしましょう。いずれの場合でも、ラッキョウを入れた食事とレモンの湯だけで、完治します。

要するに、人は、淋しがりやで、そのうえ、自分のことしか、また、金儲けのことしか、頭にありません。それが当たり前、普通の人間の言動です、素直に受け入れ、怒っては、促進剤を創るだけと割り切り、有から無への人生道場を歩むほかありません。ゆうゆう、のびのびとですね。

いいにくいこと、語り部は、そのまま、真の事実に近づく要があると、認識し始めました。それは社会のおきてというものです。

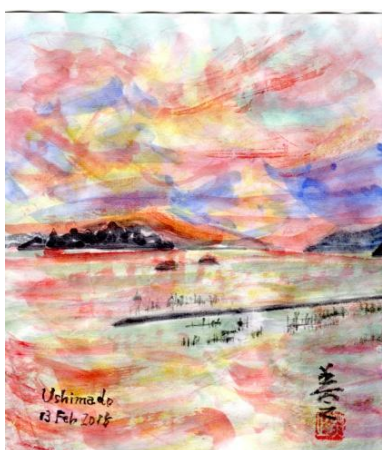


UNA ウナ メタファー: 融合の時代への METAPHOR 高橋秀幸 作
西風新都西の平和公園、競技場入口に安置された左右2体の聖獣こそ、平和の真髓

Historic Variety on the Earth

空想上の聖獣『UN・A』はイタリア語で「一つ」を意味する不定冠詞「una」と同じ音を持っています。また『UN-A』は、「吽・阿(UN・A)」に由来し、私たちが「阿・吽(あ・うん)」と呼んでいるものを逆にした形になっています。東洋では、阿(あ)を万物の根源、「吽(un)」を一切が帰着する智徳とし、「阿・吽(a・un)」によって、宇宙の森羅万象を表現しようとしてきました。『UN・A』は始まりから終わりまでの様々なものを、全て一つのものとする融合のメタファーです。

『UN・A』を積み上げていく天使たちの姿に「理想を築き・守る」という決意と、融合し幸福を分かちあうという人類の夢を託しています。



地球は、一瞬毎に、早朝、ひる、夕方、よる、と回転しているのですね。
左は、日本画用の筆、右は、水彩画用の筆で描きました(逆かな)。

15. 神田善弘先生からのお話

on 16 Sept 2015

9月13日、久しぶりに、神田先生と湯来の湯の山温泉打たせ湯に楽しいひと時を得ました。Jetro, Australia での体験があふれ出て、その気持ちが肌にひしひしと伝わってきました。その概要は、つぎのとおりです。

- ① 金融商品 financial assets = 株式・債券・預貯金；相場理論 quotation-theory や市場原理 the market principles で動く。
- ② 通貨 currency は、相場理論と区別して、等価交換と考えよ。 平価理論 purchasing power theory と一体。
- ③ 為替相場も、等価交換が原則。 相場理論では、等価交換は、不可能。
- ④ 平価理論の造り方； GDP/人口=1 人当たり GDP。平価理論=経済力。
- ⑤ ハンバーグ・レート； e.g., Japan, Yen300 and the US, \$3, then \$3=Yen100, since $300/3=100$.
- ⑥ 経済力の大小；経済力小の円÷経済力大のドルは、円高、逆は、逆。

神田善弘論を Purely endogenous 論 (上領英之) から位置づけると、つぎのとおりです。

- i) 真の経済力 True economic-power indicator = $g(\text{gdp}(\text{en}))$.
 $\text{gdp} = \text{GDP}/\text{population}$.
- ii) Essence of Kanda's condition: If actual data=endogenous data (i.e., $(\text{ac})-(\text{en})=0$), Kanda's theory completely overlaps with Kamiryo's.
- iii) If $(\text{ac})-(\text{en}) \neq 0$, Kanda's theory requires some correction or re-visit of parity, with some cyclical condition.
- iv) The above proof is evidenced by supplying KEWT 9.15 (i.e., up-dated, 1960 to 2015).

Next, the US will raise the interest rate to prevent assets-bubble sooner or later, within 2015. Then, what happens for the trend of the true economic-power indicator?

In this respect, Kanda and Kamiryo coincide with each other, no difference. The shock makes the indicator suddenly and widely so that quotation-theory sharply and temporarily collapses. It means $(\text{ac})-(\text{en}) < 0$ or minus significantly.

Why is there no difference between Kanda and Kamiryo? This is because the outcome is unknown after abnormal zero-interest rate. Financial assets hit a lowest level each other, with rises of interest rates, resulting in a great deflation. Who can take action? No one exists in Japan, regardless of the difference of standpoint, government, interest-group, or people.

The, it means the current policy-makers play in a short run just for conscience sake and cheat people and citizens in a long run. This is non-sense. Zero-interest rate is a deception or a drug. As a result, many developing countries suffer from the deception.

No economic policy is the best. In this respect, Kanda's opinion may differ from Kamiryo's. Purchasing power theory expresses the exchange rate and currency. Kanda may want to raise the true economic-power indicator.

Historic Variety on the Earth

16. 巖島における12神社ボート一周の機会を得て

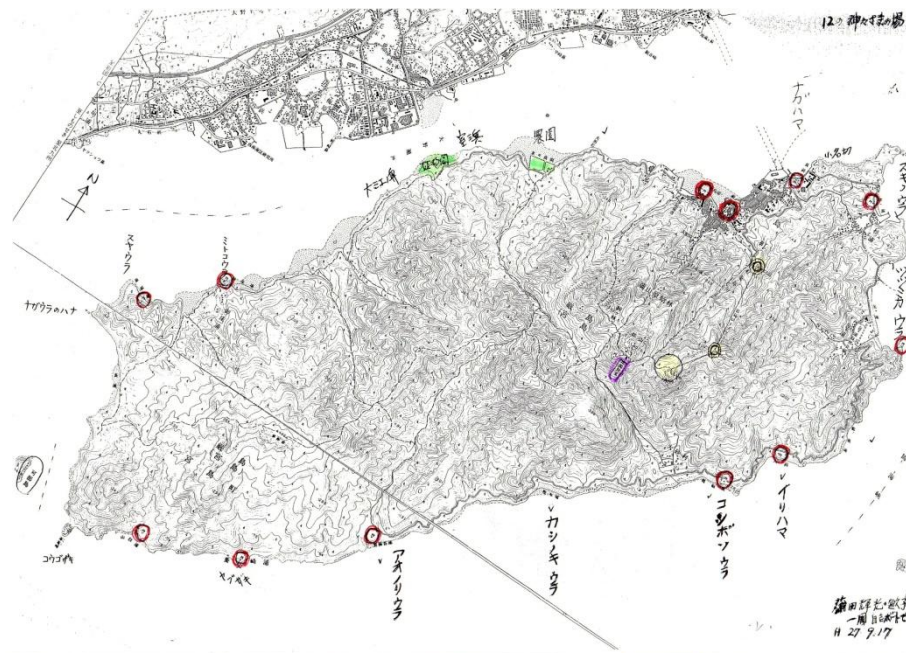
on 17 Sept 2015

長い間のご無沙汰のお詫びと報告のため、9月17日、なつかしく宮島棧橋左よこにある民宿かまだ(蒲田輝光・敏子夫妻)に宿泊できました。11時から島の一周わずか1時間という高速艇が輝光さんとともに待っておりました。午後は、2時間かけて、自然農法家を蒲田夫妻とともに車で訪問、再会を実現できました。

海岸沿いに点在する12神社の場所は、大願寺・巖島神社を起点とした、右周りに示すと、つぎのとおりです(地図参照)。

ナガハマ、スギノウラ、ツツミガウラ、イリハマ、コシボソウラ、カシノキウラ、アオノリウラ、ヤブサキ、サンビヤクウラ(南西端コウゴザキの手前)、南西端ナガウラのハナのヒガシ、スヤウラ、そして、ミトコウラ。

ミトコウラと大願寺・巖島神社との間には、植物園ならびに多々良農園が花をめでています。



葦嶽山山頂 815m のピラミッド・エネルギー・スポットへの登頂、天気にも恵まれて

on 20 Sept 2015

不思議な話ですが、庄原市には、世界に三つしかないといわれる Pyramid point の一つがあります。あとは、アメリカと欧州にあります。なぜ東洋では、日本に存在するのか、夢追いは、尽きません。地元から、また、全国の各地から、老若男女を問わず、銀座通りのように、また、伊吹山頂への提灯行列のように、人々が行き復います。小学生が友達同士でじゃれながら、ほほえましく、

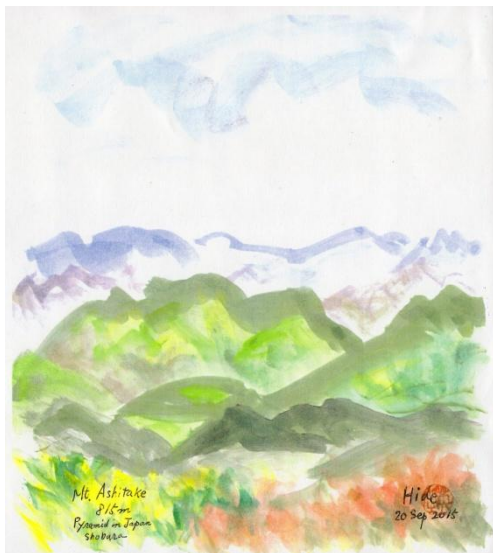


Hideyuki Kamiryō

また、多くの飼い犬が嬉々として家族とともに、さらに、健康な人も、固定観念に苛まされる治りたい一心の病人も、です。動く紙芝居を見聞している錯覚に駆られます。

葦嶽山山頂 815m の平らな狭い砂地の場所です。まず、はだしになります。磁石を用意して、左手をあげて真北に、右手を真南に水平に固定します。つぎに、体の全体を垂直に東に向け、力を抜いて、からだをゆらゆらさせます。男子は、頭のとっぺんから胸を下りて足先より土中に太陽の氣が入ると念じます。両手両指の先が、チカチカします。それは、体のなかに蓄積された不要物がすべて洗い流される証左です。体が熱く、かつ、軽くなります。体全体が赤子に還り、大自然に戻ります。

女子は、男子とは逆に、すべてが土中から頭のとっぺんに抜けます。陰陽の摂理そのままです。体のなかに蓄積された不要物がすべて洗い流される証左です。体が熱く、かつ、軽くなります。体全体が赤子に還り、大自然に戻ります。長い60年周期の女性がリードしているように、感じられます。何といても、空気が甘く、風がさわやか、緑がちがいます。大自然に還ったような雰囲気と感性の復活です。見返りゼロの感謝を、思わずにいられない風景です。



Historic Variety on the Earth

17. 杣山(そまやま)ハス園から pyrrole 菌培養の勉強へ

on 27 Sept 2015

旅は道連れという繋がりが今回の場合にも当てはまりました。25日午前中金沢に本社のある**澁谷工業(カ)**の株主総会に非常勤役員として出席のため、前日(24日)中に金沢に行く要があります。敦賀から福井までは、JRの車窓からの景色が最大の楽しみです。日本最古の弁財天さまの祠を、車窓から数メートル北側の斜面上に拝します。

その事実を足で3日間、今庄から鯖江まで徒歩で走りつつ、戻りつつ、ついに確認できて、巖島の大願寺弁財天さまに報告したのは、修道大学定年後でした。琵琶湖北端の竹生島財天は、巖島ならびに江の島とともに3大弁財天ということです。今回は、帰路、竹生島回りをとらず、福井のそま山、4千年昔の日本文化の発祥地・原点、Lotus Flower Gardenに一泊しました。

24, 25, 26日は、なによりも、生涯にとって忘れられない3日間となりました。それは、小林陽太郎夫妻との出会いとそのあとの長い年月、そして、9月5日の陽太郎氏との別れです。The HEU (15 July 2015, 3分冊の最終刊)出版までの3年間はすべての縁ある方々との交流を先延ばししてきました。7月下旬の10日間は、the HEUを受け取りに、Dr. Yisheng Huang, Chief editor, Better Advances Press, Toronto との再会を果たしました。また、Mrs. Joyce, cover designer と懇談の機会を得ました。往復の Air Canada 機中では、Steven Hawking 生涯の映画を初めて運よく繰り返し鑑賞しました。The HEU と裏腹の関係であると、認識したためです。

9月24, 25, 26日の3日間は、Toronto から Logan, Boston に足をのばして、Harvard と MIT の生存の恩師・恩人の方々に握手、旧交を温めました。その真の契機は、陽太郎氏が Xerox との合弁を尊父富士フイルム社長・節太郎氏の命にしたがって、東銀座を横切る首都高速ガード下のせまい一室で初めてお目にかかった日時でした。不思議な縁で、それ以来、家族ぐるみの交流が続くことになりました。

なぜか、突然、7月下旬の10日間直前、出版確定後のいの一歩に、陽太郎氏に手紙を出しました。そのとき、わたしは、なぜ Fuji Xerox 宛のはじめの手紙が戻ってきたのか、理解できないままでした。結局、ご自宅あてのさいごの郵送を確認して、すぐ Toronto に出航しました。

留守中に、陽太郎氏の奥さんから、家内に電話がありました。私は、渡航大好き男、昔から日本入国の手続きの済むまでは、家族に電話しない原則を守ってきました。つまり、携帯を持たないので、留守中は、浦島太郎のままです。最近は闘病のため社会活動のできない状況でありました。最大の恩人に対して、痛恨の極みです。別世界に報告の気持ちをもって、ここに、タイプをはじめたわけです。

新聞に『週刊現代』21日合併号の内容が掲載されていました。陽太郎氏の記事を買ったのは、結局、9月26日、そま山1泊からの帰途、JR 西広島駅前の売店に1冊が残っていました時です。10か所ほど、どこにも見つけることができないままで、3日間

Hideyuki Kamiryo

を終わる直前でした。9月5日という活字から目を離せませんでした。家内の兄と同じ命日です。

10月8-10日は、International Atlantic Economic Society Conference, Boston に渡航、その帰途、Library of University of Hawaii に2日間、文献整序をします。酸性雨や Pyrrole 米の初出の再確認、そして、hyperbola curves and functions への再調査です。帰国後、ご都合に合わせて、上京して、すべての報告を墓前に、捧げさせていただきます。

末尾に9月24, 25, 26日の3日間を、pictures に次のようにまとめました。

- (1) 小林陽太郎氏の残された社会へのあるべき姿、3頁
- (2) Lotus Flower Garden, 25日1泊, ハスの開花から散るまでの10日間 (おおよそ6月おわりの1週、7月はじめの3日間)のあと、すでに3ヶ月; 実がついて枯れていく姿
- (3) Bhutan Museum in Fukui の発見; GDP に替わる NIH, true happiness の国
- (4) Utopia in Sweden, North Europe の實像
- (5) LHS; 金沢・京の古くして新鮮な文化の美しさと, RHS 長女雪之の手編み, 親バカ
- (6) Pyrrole 玄米培養土発明家, 黒田与作氏に伴われての Griffis 研究家, 越前市北府在住の山下英一夫妻との出会い; Yamashita Eiichi, *Griffis' Fukui Letters* (284p, 21 June 2009)と同著, *グリフィスと福井* (77 (英文)+362 (邦語); 4 March 2013 edition up-dated)を頂いて

なぜ、26年間 (1877-1903; born in 1843 and died in 1928), 江戸でなく、福井松平藩主の科学と化学実験研究のために、また、還暦に牧師を辞めてまで、莫大な執筆・ゆるぎない社会活動を続けたのか? その家系は、山下英一氏がまとめていますので、ここに引用させていただきます。グリフィスの友は、あと9里のところで、目的地金沢を目の前に別世界にいつてしまったと書かれて、その苦悩をなんとか乗り越えたと出ております。

私は、これだけの人物が古代日本文明の発祥の地、南条そば山のすぐそばに吸い寄せられたのを、偶然とは思えない気持ちを隠しません。また、山下英一氏の生涯のグリフィス研究が現存することを、大自然のめぐりあわせと感じております。

山下英一著, 貴重なグリフィス研究の引用を期して:

- (1) 山下英一. (2013, 国立大学法人福井大学監修). 増補改訂版グリフィスと福井. 坂井: 株式会社エクシート. 77+362p.
- (2) 山下英一. (2009). *グリフィス福井書簡—Griffis' Fukui Letters—*. 金沢: 製作, シナジー株式会社エクシート; 印刷, 能登印刷株式会社. 284p.

ビジネスマン必読

こんな経

小林陽太郎

富士ゼロックス元会長

「ビジネス

ネス領域がアジアなどに限られていた。が、小林ら幹部たちは、欧米にも進出したいとの夢を抱いていた。そこで、小林が一計を案じた。

それは、米ゼロックスと合併で小型プリンタの製造会社を作り、そこを拠点に欧米ビジネスを展開しようというもの。有馬が述懐する。

「米国の親会社にすれば、自分のテリトリーに子会社がライバル企業を作るようなものです。当然、『何のつもりだ』ということになった。しかし、親会社との交渉の場につくと、小林さんは堂々と持論を展開する。子会社だからという引け目もまったく出さず、むしろ議論をどんどんリードしていかれた。その迫力に凄みを感じました。印象的だったのは、小林さんが騙しすかすような駆け引きをしなかったことです。むしろ、『互いに正面から向き合って本

意を言い合おう』と最善を尽くされたんです。そして、『これが互いにとって正しい道なんだ』と納得するまで議論をした。

人の話を謙虚に聞く

こうして米国に念願の会社を作ったものの、00年代にはその会社の業績が低迷。不安に駆られた社員の退職が相次ぐ危機に陥ると、小林は再び動いた。有馬が続ける。

「当時、私がその米国会社の社長で、小林さんに相談したんです。すると、『よし、僕が行くよ』とすぐに来てくれた。そして小林さんが全社員を前に話してくれることになったんですが、経営の具体的なことは全然言わない。代わりに、ゼロックスの理念とか、日米関係の現状みたいな大きな話を始めたんです。

小林さんは言葉を大事にされる方で、いつも自分の言葉で語りかけてく

小林さんは常に誠実であることにこだわっていました。だからこそ、親会社の幹部も小林さんを尊敬していた」

決して威張らず、立場に関係なく謙虚で、どんな相手の話もじっくり聞いてくれた。この日もそのうちに、社員たちは「なんか、この会社は大丈夫そうだ」と元気づけられた」

小林は周囲によく語った。「中で仕事をするのはなく、外に行け」それは次のような信念に基づいていた。

「新しいものを生み出すには、常に探求し続けること。そのためには、人の話を謙虚に聞くことが大切だ。他人のアイデアを素直に認めること、新しいアイデアに寛容であること。そこから創造性が生まれる」

はもう出ない 遺した 名言



1933年4月、ロンドン生まれ。幼稚舎からの慶應ボーイだった

誠実さにこだわる

魅せられる人だった。東京・目黒にある邸宅を訪ねると、時には玄関に出てきてくれて立ち話を、時には場所と時間を変えて改めて話を聞かせてくれた。

提灯記事を書くツーカーの記者としか付き合いたがらない経営者とは違い、一見の記者にも真摯に対応した。「広報を通してくれ」などと無粋なことを口にせず、いつも自分の言葉で語った。珍しい人だな、と思った。

そして、話せば話すほどファンになった。「僕は甘いものに目がなくて、おはぎがすごく好きなんです」いつもパリッと決めたスーツにポケットチーフが似合う国際派経営者。外国の映画俳優のように彫りの深い顔は、ダンディーそのもの。

ないこんな言葉をさらっと口にする。

取材の御礼にと和菓子を送ったら、数日後、馬鹿丁寧な手書きの礼状が届いた。何十歳も年下の若者相手でも、いつも敬語で話す人だった。

「桜も好きですよ」

ソニー元会長の盛田昭夫（故人）とは、家族ぐるみで付き合いがあった。盛田邸で毎春開催される、桜を愛でるホームパーティーに出席するのを楽しみにしていた。

「そこではおはぎも振るまってくれるんです」

嬉しそうに語っていたのが、強く印象に残る。

次の桜の季節も、心待ちにしていただろう。

9月5日、小林陽太郎が82年の生涯に幕を閉じた。

1978年、小林は44歳という若さで富士ゼロックスの社長に就任すると、2009年に相談役最高顧問を退くまで同社を牽引した。

小林が社長就任当時、富士ゼロックスの年間売上高はざっと1000億円。これが現在では1兆円を突破するまでに拡大させた。名実ともに「ミスター・富士ゼロックス」たるゆえんである。

富士ゼロックスで小林の3代後に社長を務めた有馬利男には、忘れられない思い出がある。

1990年代初頭、富士ゼロックスは米ゼロックスの傘下として、ビジ

「モーレッツからビューティフルへ」。TV CMのコピーに、行き過ぎた経済至上主義への警鐘を込めた。常に先を見据えていた。時に早すぎて誤解も受けた。それでも突

小林陽太郎が遺した 「ビジネスの名言」

2000年代初頭、東京電力のデータ改竄など企業の不祥事が相次いだ頃、小林は産経新聞のインタビュアーにトップの心得をこう語っている。

「トップの意識が部長、課長にきちんと伝わるのが肝心で、『俺の目を見る』式の経営は成り立たない」

「なにより、最終的な責任は、最高経営責任者にあるという気概を見せる」

小林は、99年4月から外資系企業出身者として初めて経済同友会の代表幹事に就いた。就任早々に「市場主義宣言」を超えて」と題した提言を発表して、財界で話題となる。日本IBM相談役の北城恪太郎はそんな小林を間近で見て、「信念の人だと思った」と言う。「企業のあるべき姿は利益を上げるだけではなく、企業の活動そのものが社会に貢献するようになることだ」というのが、小林さんの考えでした。



しかし、当時は市場主義の導入が声高に叫ばれていた時期。小林さんの意見は批判されましたが、小林さんはこれを貫いた。

常に原点に立ち返る

政治に屈しない財界人だった。小林とともに「新日中友好21世紀委員会」を務めた東京大学名誉教授の松井孝典は言う。

「小林さんが小泉純一郎首相(当時)の靖国参拝を批判すると、小林邸を街宣車が回りだし、玄関前に火炎瓶が置かれる事件に発展しました。しかし、小林さんは怒るでも逃げるでもなく、話題に

世界中に人脈を持った。左はエステイローダー創業家

反対する相手の話もじっくり聞き、そのうえで懇切丁寧に説明していった。あれから十数年が経ったいま、小林さんの言っていたことが浸透しつつあるのが感慨深いです。当時、私が社外取締役の重要性を唱えた時、同友会内部でも反対意見が多かった。そんな時も、小林さんだけは「いやいや、こういう意見もあるんだから」と言って、守ってくれました」

すらしませんでした。委員会では中国側の要人たちと会談するのですが、小林さんはここでも言うべきことは言う。教養人なので、東洋哲学などの話もされていた。中国側の方々には、この人は単なる金儲けの財界人ではないとわかり、小林さんを信頼していました」小林は1998年、日本のリーダー層を育成す

るための日本アスペン研究所を設立する。

「若い人を育てなければダメだ」

小林は企業の、そして日本の未来のために、若いリーダーを育成することの重要性を唱え続けた。日本アスペン常任顧問の岡野雄治が言う。

「小林さんは、『単に利益を追求するだけの企業人を育成しているのは、グローバル化の中で取り残されてしまう』という考えをお持ちでした。アスペンのセミナーでは古典をテキストに対話するのですが、小林さんはかねてから次のようにおっしゃっていました。

『視野を上げ、思索を重ね、確たる価値観を持つて対話できるリーダーを育てたい。そのために古典から学ぶ。常に「何のために」という原点に立ち返り、自ら判断して行動することを求めたい』こうした発想がなければ、世界に通用する企業

リーダーは育たないと思いを持っていました」だから、志のある若者が頼ってくれば、決して邪険にしなかった。NPO法人「言論NPO」代表の工藤泰志が言う。

「私は現在のNPOを立ち上げる時、小林さんに相談に行きました。初対面で私が『日本の言論を立て直したい』と言うと、小林さんは、『そもそも言論とは何なのだ』『どういう役割が問われているんだ』などと、すごい議論をふっかけてきた。でもこちらが一生懸命話をしていると、小林さんはテーブルに手をついて、笑顔で、『私も仲間に入れてくれないか』と言ってくれたんです」小林は「良い会社」の条件をこう述べている。

強くて、やさしくて、おもしろい。――。思えばそれは、そのまま小林の人生に重なる言葉のようである。

(文中敬称略)

Hideyuki Kamiryo

Lotus Flower Park



福井県はニッポンのブータン
ブータンミュージアム
 Bhutan Museum in Fukui
 幸福度No.1の福井県から「幸せの国ブータン」を紹介

ブータンミュージアム外観

活動応援募金
 会員募集の応援にご寄付を頂いております
 We accept members and donations.

福井県立 博物館	●にぎ女子道
福井県立 総合庁舎	●ローソン
福井県立 総合庁舎	●七子百貨
さくら通り	●クリニック
ブータンミュージアム	●栄徳幼稚園
ブータンミュージアム	●森八火屋

福井駅より徒歩約10分

〒910-0005
 福井県福井市大手3丁目15-12
 TEL 0776-22-0011 FAX 0776-22-0010
 URL <http://bhatan-npo.asia/>
 E-mail info@bhatan-npo.asia
 開館時間 11:00~17:00
 定休日 毎週月曜日（祝日の場合は火曜日）
 入場無料
 Bhutan Museum
 15-12, 3-chome ohte Fukui JAPAN
 Postal code 910-0005
 Telephone 0776-22-0011
 Hours 11:00~17:00
 Regular holiday Monday
 Admission free

第5代国王夫妻

第4代国王

撮影 松田宗一氏

玉座

3Dプリンターで作成

撮影 松田宗一氏

ブータン王国 立体地図

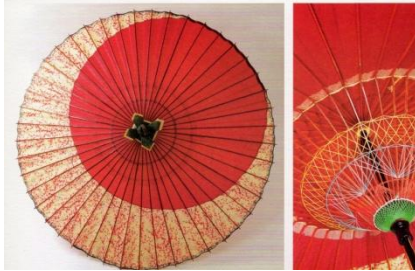
歴代の国王

ブータンの楽器
タムニエン

民族衣装の
キラ(男性)とキラ(女性)

国旗

Historic Variety on the Earth



The LHS Culture in Kanazawa and Jpn The RHS Hand-weaving by Yukino 雪之

Kamiryo family has two daughters, Yukino 雪之 and Tsuruko 鶴子. It is certainly over-fond parent but, both had drawn many pictures when they were children, just like father Hide did when he was a child, only son of Heisuke 平左 and Kiyoko 清子. Two drawings by Yukino and Tsuruko are the following:

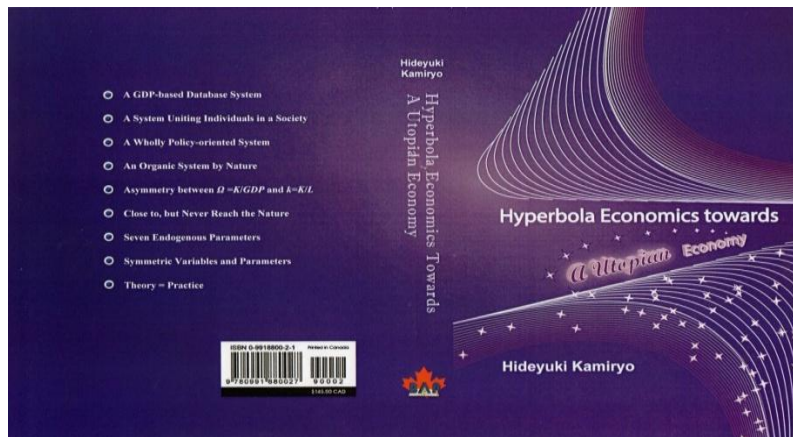


Pretty sketch drawn by Tsuruko 鶴子

Kamiryo family will publish a joint water-color booklet in the near future.

Hideyuki Kamiryo

『双曲線経済学』(July 2015, xxxii+600p.) の表紙とその出版社 Better Advances Press, Toronto に対する感謝を



邦文説明と解釈：

筆者は、無二の親友、Dr. Yisheng Huang, Chief Editor, BAP, Toronto, から、'simpler the better' という金言を教えられて今日に至っております。日本語は、その点であらゆる言語のなかで、一番あいまい、かつ、意味の取り方を読者にまかせる第4階層にあるとされています。その点、英語は、わかりやすく、一つの単語、文、節において、解釈の乱れることが少ない言語となっております。筆者は、もともと、話しても、書いても、意味不明が多くて、家族が太鼓判を押しております。家内は、その点、厳しく、神のように話し方に厳しいです。一つ、一つ、相談すると、何回も生まれ変わる時間が要求されます。したがって、筆者は、英語をすべての基本に置きます。主語、補語、目的、代名詞、すべてに氣を使う労が省け、また、母国語への限りのない助け舟となります。

その結果、Dr. Yisheng の'simpler the better'を、口先だけでなく、実現できる道しるべを得ます。一石二鳥以上の結果に結びつきますね。

実際は、口先と実現の間を右往左往しております。

さて、上の Cover-Page にやっと、たどり着きました。もっと、簡単にできないのかと、自問します。『双曲線経済学』が伝えたいことは、Cover-Page の左に、印刷されています。

Dr. Yisheng Huang が一層やかりやすく、表現を直してくれました。

再掲すると、 i) A GDP-based database system; ii) A system unifying individuals in a society; iii) A wholly policy-oriented system; iv) An organic system by Nature; v) Asymmetry between $\Omega = K/GDP$ and $k = K/L$; vi) Close to, but never reach the Nature; vii) Seven endogenous parameters; viii) Symmetric variables and parameters and; ix) Theory = Practice.

Common feature between Hawking and Kamiryo publishing is 'the circle,' each reinforced by the same philosophy. Hyperbola is expressed under the two-dimensional (2-D) plane, where geometric transition is measured hidden. Graphical show up suggests every thing by aspect. Hidden equations, hundreds and thousands, are officially measured in the *EES* (1st 2013 and, 2nd edition 2014). There is no inconsistency between the *EES* and the *HEU* above.

Happy Wedding Anniversary of Hide and Toshiko! 17 Oct 2015

Historic Variety on the Earth

**18. Wish to learn the essence of Angus Deaton's (松本裕訳) "The Great Escape" 大脱出：
健康、お金、格差の起源, 2013, みすず書房, xxi+351p.**

on 23 Oct 2015

All words cited and, Kamiryo is solely responsible for English translation from Japanese.

The cover page writes: 「なぜ人間の幸福が、全体で見れば、長い時間をかけてずっと良くなってきたかを知りたいなら、本書を読むべきだ—ビル・ゲイツ 貧困研究の最先端から贈る、『富と健康の経済学』」

筆者は、この邦訳をみすず書房のために纏める意図は、ゼロです。では、なぜか？それに答える前に、本書の目次を記します。はじめに、序章 本書で語ること 第1章 世界の幸福 第1部 生と死 第2章 有史以前から1945年まで 第3章 熱帯地方における死からの脱出 第4章 現代世界の健康 第2部 お金 第5章 アメリカの物質的幸福 第6章 グローバル化と最大の脱出 第3部 助け 第7章 取り残された者をどうやって助けるか あとがき これからの世界 原注 索引。 筆者は、個人の考え方として、健康は、あれこれの提案はしないほうがいいと反対です。では、格差をどう考えるか？この主題に対しては、本書の意図のなかに唸るような共鳴を覚える個所が多々あると感じています。そうですからこそ、ここに、本稿をまとめる次第です。

「はじめに」と「あとがき」には、共感する個所が凝結されています。「はじめに」
13 頁: プリンストン大学は、30年以上にわたって最上の学究環境を提供してくれている。アメリカ国立老化研究所と全米経済研究所は健康と幸福についての私の研究に出資してくれ、その研究結果は本書に大きな影響を与えた。世界銀行とは度々仕事をさせてもらっている。世銀は、常に緊急で現実的な問題に直面しており、どの問題が重要でどれがそうでないかを教えてくれた。近年、私はギャラップのコンサルタントを務めている。ギャラップは、幸福についての世界的調査の先駆者であり、そこで集められたデータの一部が、本書の序盤にいくつか使われている。ここに挙げたすべての関係者に、感謝したい。

筆者は、IMFとWBに、身内として、データ改善のため何度も交流・滞在したという共通点を持ちます。しかし、経済成長率が落ちて、格差が一層問題だという現実の流れには、否という立場です。「健康と所得を併せて見れば、専門化によって生じがちな間違いを避けることができる」(21頁)にも、抵抗を覚えます。現実の姿を見る、そして、解決策を提起するという立場を決して否定できません。ですから、22頁の一節をここに記します。

幸福は格差に目を向けずに、平均値だけで測ることはできないし、全体に目を向けずに一部分だけを見て測ることもできない。本書がもっと分厚くて私がもっと博識なら、自由や教育、自治、尊厳、社会参加能力などの側面についても書いていただろう。だが健康と所得について一冊の本の中で考えるだけでも、どちらか一方だけを見ることで犯されがちな間違いを避けることができる。

Hideyuki Kamiryo

「はじめに」 23 頁：発展のカギは新たな知識、新たな発明、新たな手法だ。 ニーズに応じてイノベーションを生むのは、社会的・経済的環境だ。 にもかかわらず、予防や治療に関する根本的な解決法はいまだに生まれていない。

23 頁に、双方の一体化への鍵が存在します。人類が永続するためには、大自然により近づくほかないのです。科学が自然科学＝社会科学という条件を満たすならば、健康も、幸福も、おのずから解決されという流れの姿こそ、人類のゴールとしての在り方です。それは、心や体を融合できて、本来の宗教以前ともいべき在り方だからです。

「あとがき」 346-347 頁：私が描いた大脱出の物語は前向きなもので、何百万人もが死と極貧から救われる物語だ。格差はあるし、何百万人もがまだ取り残されてはいるものの、世界はかつてない暮らしやすい場所になっている。だが本書の象徴として取り上げた映画は、ハッピーエンドではなかった。脱走兵のうち逃げ延びたのはごくわずかで、50 人が処刑されてしまう。人類の大脱出は違う結末を迎えるはずだ、と私たちは自信を持って言えるだろうか。

言えないかもしれない。だが、希望を持てる理由はある。

私たちの文明を破滅させるかもしれない脅威はいくらでもある。気象変動はもっともわかりやすい例だが、それに対して政治的に実現可能なわかりやすい解決策はいまだにみつかっていない。個人の関心が全体の需要より優先されるという事実を印象的に書き表したのがジャレッド・ダイヤモンドで、彼は著書の中で、イースター島で最後に残った一本の木を切り倒した人間は何を考えていたのだろうと思いをめぐらせている。

戦争はなくなっていない。物騒な政治はどこにでもある。

科学革命と啓蒙時代は、物質的幸福と健康の持続的改善をもたらした。だが科学は世界の多くの場所で宗教原理主義者による攻撃にさらされていて、アメリカも例外ではない。そうした原理主義者の多くは政治的に強い力を持ち、科学的知識によって利益を脅かされる人々の支持を受けている。

「あとがき」 348-349 頁：アメリカの場合、現在見られる所得と富の極端な格差は、過去 100 年以上の間は見られなかった。富の極端な集中は民主主義と成長を阻害し、成長を可能にする創造的破壊を抑え込んでしまうかもしれない。このような格差は、先に脱出した者が自分たちの通ってきた脱出経路を塞ぐ行為を奨励してしまう。

成長がわずかしか見込めない世界では貧しい者と富める者、若年層と高齢層、ウォール・ストリート (金融経済) とメイン・ストリート (実体経済)、医療提供者と患者、そしてそれぞれを代表する政党同士での分配を巡る争いが無限に続くだろうことは想像に難くない。

情報革命とそれとともに生まれてきた機器は、人類の幸福に計り知れないほどの恩恵をもたらした。これらの恩恵が成長に関する統計にはほとんど表れないことこそ、統計がいかにも不十分かを語っている。情報技術が不十分なわけでも、それがもたらす喜びが不十分なわけでもないのだ。

Historic Variety on the Earth

成長率が伸び悩んだとしても、「後発国のメリット」によって今後何年も平均以上の速度で先進国を追いかけていくことができるはずだ。

アフリカの無限の才能の開花を押しつぶすのは止めなければならない。

The *HEU* や the *EES* は、格差問題が成長とは無関係な evidences を国毎に提供しているし、現実の量的統計は依然として、その要であることを実証しているし、格差は、幼児教育がその出発点であることを、全体系に浸透させている。

「あとがき」350-351 頁：健康が改善し続ける究極の理由は、人類が改善をのぞんでいて基礎科学や行動研究、薬、治療法、そのための機器などに資金を出す用意があるからだ。イノベーションは気軽に買えるものではないし、必要なときにすぐ手に入るものでもない。だが、潤沢な資金をとまなう需要が結果に結びつくことは間違いない。

悪いことは起こるものだし、新たな脱出は昔の脱出と同様、新たな格差を生むだろう。それでも、そのような失敗もいずれは克服されると私は信じている。私たちは、過去にもそうしてきたのだから。

締めくくりとして：「あとがき」にも、双方の切々たる共通点が現実を直視するほどに、近づき合って、光り出てきます。いずれの path も、一つの goal に近づいてきています。まずもって、希望こそ、中庸、夢実現へのすべてですね。

この小文をとおして、ようやく心底から松本裕翻訳者の苦労がわかるような気がします。翻訳者のありがたみを決して忘れないように、今後とも努めます。

Hideyuki Kamiryo

五井昌久先生へ恒久平和のお願い

on 28 Oct 2015

五井昌久先生、お早うございます。

毎日、お慕い申し上げております、上領英之 (かみりょう・ひでゆき) と申します。

今朝は、五井昌久先生に、お願いがあって、はじめてお便りをさせていただきます。過日、白光誌を拝読中、所定の手続きのもとに、五井昌久先生に直便可能なことを承知できました。昨日、不思議なことに、そのお便りの前段としてぴったりの拙分2つができておりました。今朝3時に目覚めたときに、突然、直便のことを思い出しました次第でございます。

ここに、縁によって結ばれてきた絆について、申し上げます。和歌山田辺在住の北川訓司先生とは、小牧久時先生の地球環境大学の設立当初から、縁が続いております。小生は、絶対平和の討論会出席のため、月一回の土曜日、京大会館の一室に参加しておりました。いまでも、毎月、白光誌や冊子・ご本が北川訓司先生の依頼として、拙宅に富士山麓から拝受致しております。

小生は、50才のとき、東海銀行を定年退職扱いにて、九州産業大学に奉職を始めました。その時の縁によって、チベット最後の修行僧、北野恵寶ならびに真弘管長ご夫妻には、ひとかたならない真の教育を受けて今日に至っております。ある日、創設後の兵庫県千本にある弘法寺へ北川訓司先生とともに登山もできました。九州産業大学から5年後には、北野恵寶猊下の仰せにしたがって、広島修道大学に移籍して、居を広島に移しました。当時の定年71歳にて、すでに16年を経過、おかげさまで、あと30年を元気に、北野恵寶猊下との約束を必ず実行実現することを毎日誓っております。小生は、すべて自己責任、ひとや神仏に頼ることは、致してきませんでした。

また、縁ができたのは、広島移住のとき以来ですが、愛媛西条の石鎚神社中宮成就社ならびに小生の住む五月が丘にある分社、広島本教西教会とは、最高の教え、神仏融合の根本を勉強させていただいてきております。広島修道大学では、小生のゼミ生の父、加藤省吾様が田布施の大神様をつないでくれました。加藤省吾様は、大恩人の一方です。

さらに、となりの廿日市市にある巖島神社ならびに大聖院とも縁を賜りました。ことに、弁財天さまから、真の健康、学問一筋、美術への傾倒をさずけられて、今日に至っております。

すべておわりの五井昌久先生には、これ以上申し上げることはございません。天命として、世界平和から宇宙平和への実現と日本文明の永続が、酸性雨のなかにあっても、黒田与作先生の Pyrrole 米生産によって、確保されますことを願うばかりでございます。

合掌

上領英之 九拜